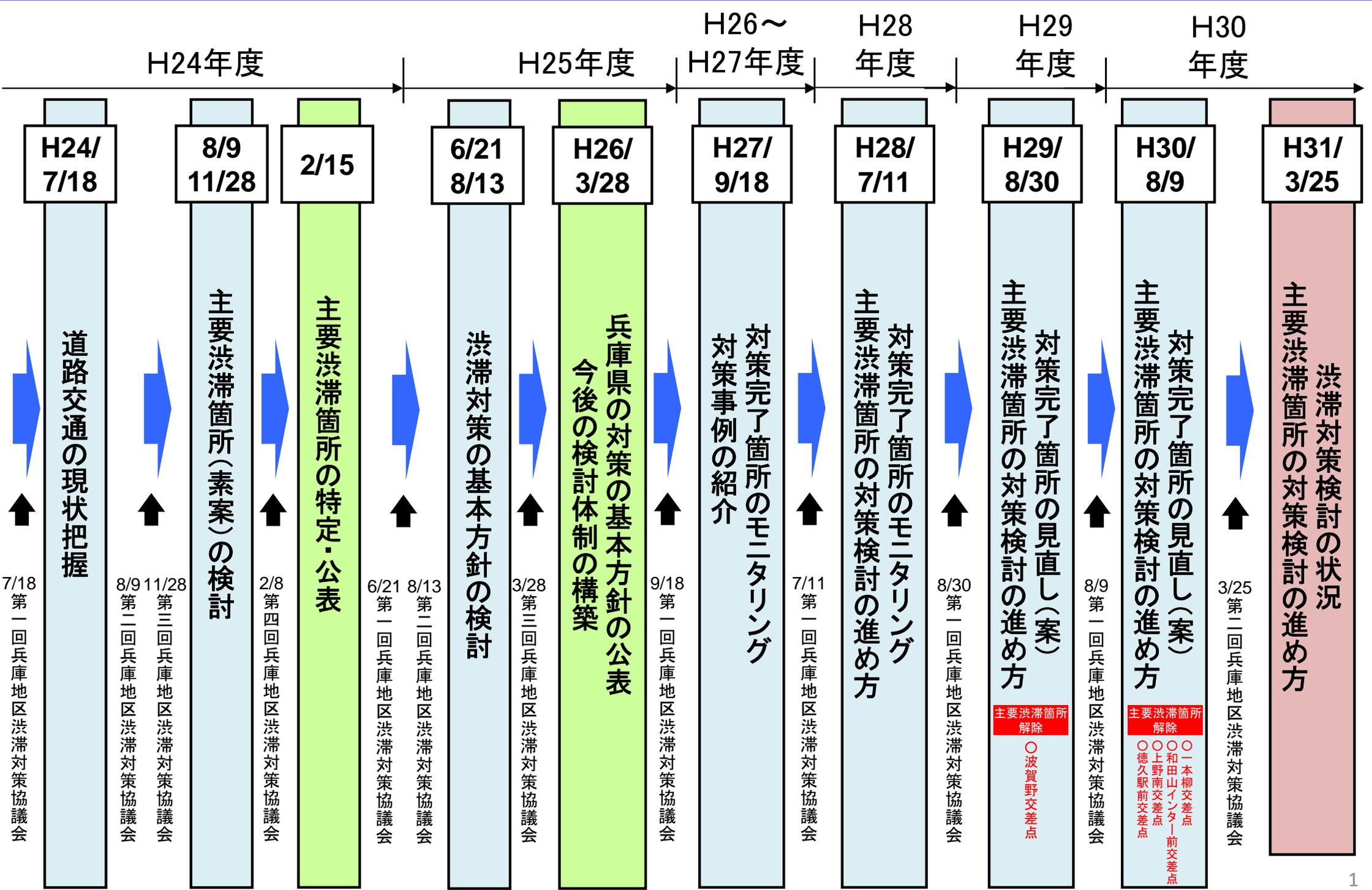


これまでの検討経緯

平成31年3月25日

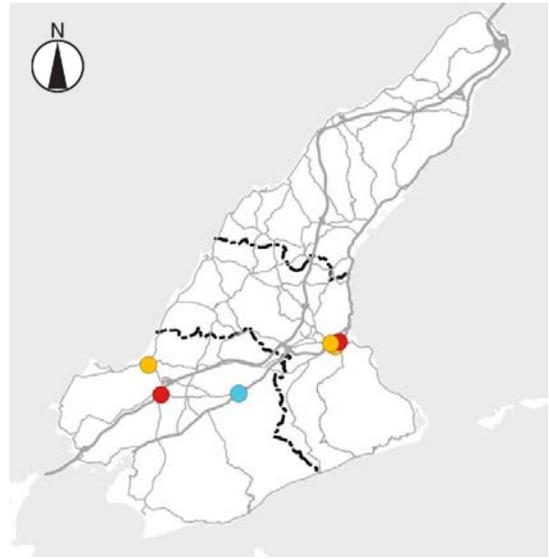
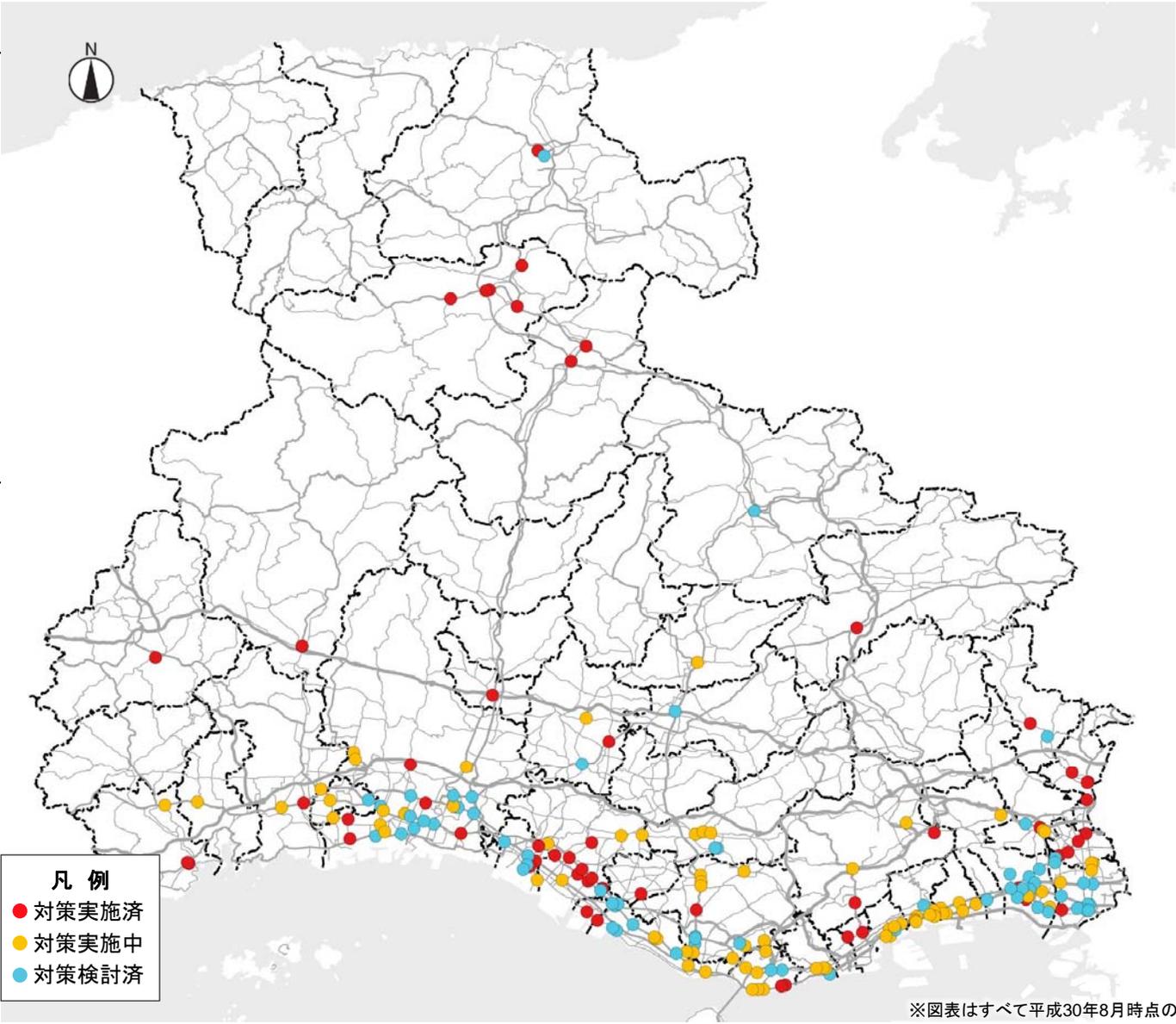
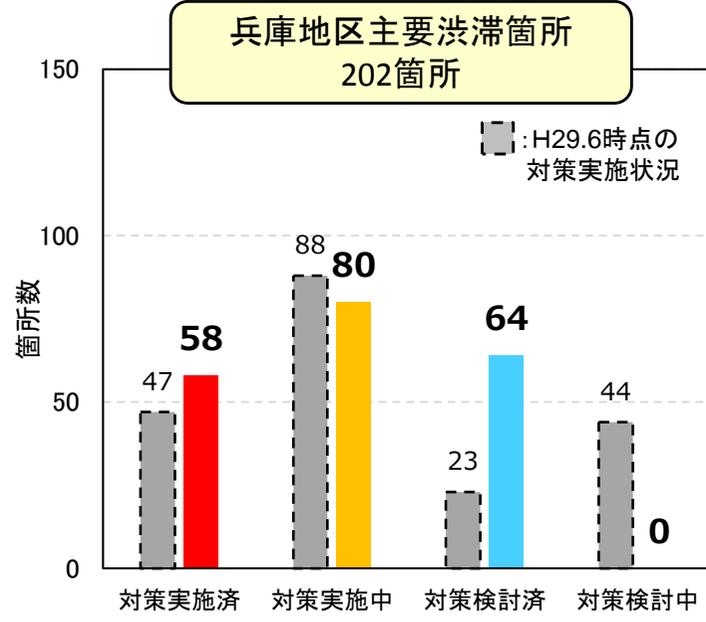
1. 兵庫地区渋滞対策協議会の検討経緯



2. 主要渋滞箇所の対策進捗

■ 主要渋滞箇所の渋滞を解消・緩和する対策の実施状況

- ▶ 平成30年8月の第1回兵庫地区渋滞対策協議会の時点では主要渋滞箇所202箇所のうち、58箇所では渋滞解消・緩和が見込まれる事業を実施。
- ▶ そのほか、144箇所に対する対策事業を推進中であった。

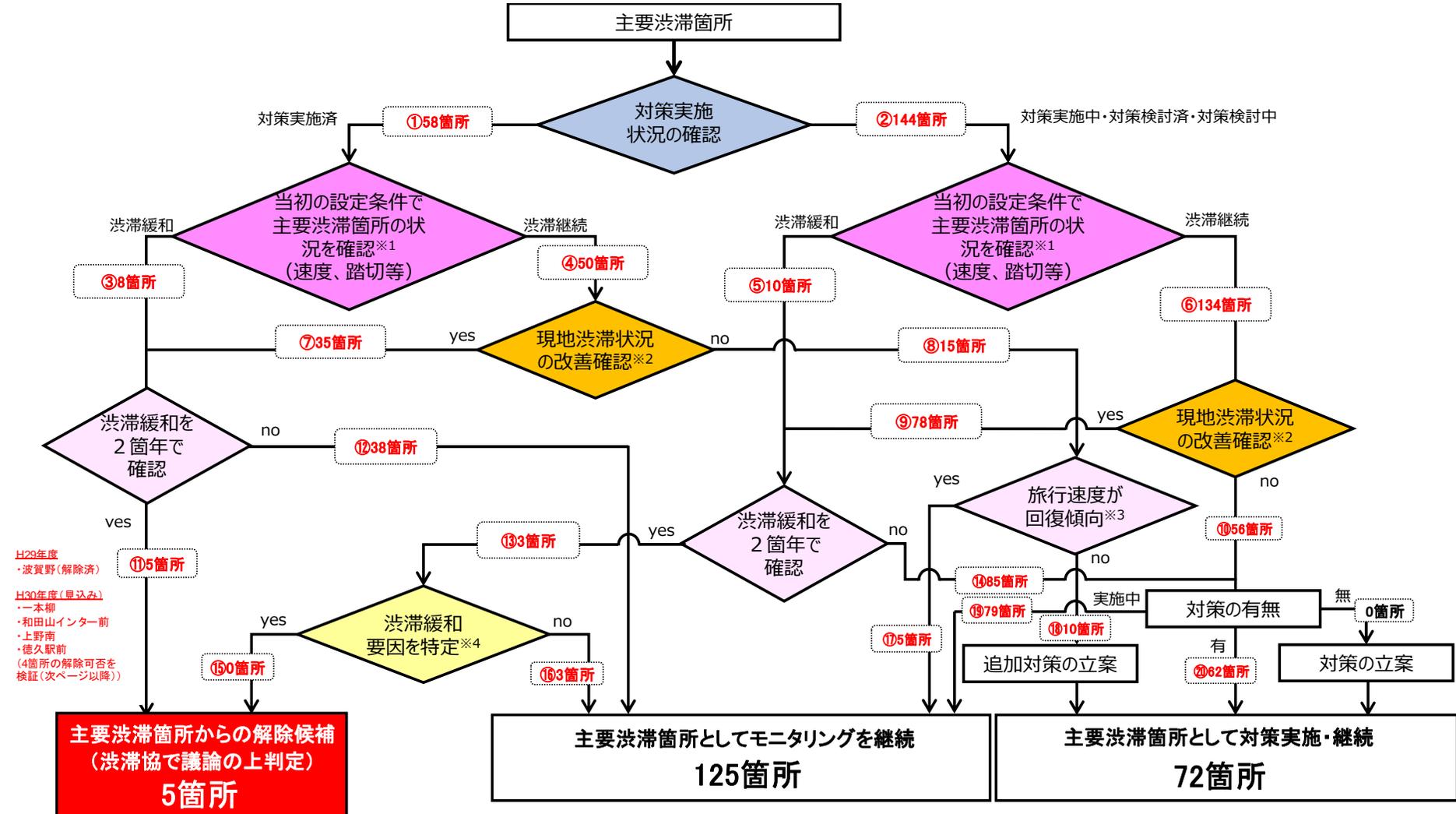


※図表はすべて平成30年8月時点の状況

3. 平成30年度第1回兵庫地区渋滞対策協議会の内容

1) 主要渋滞箇所の特定期解除(4箇所)

- 平成30年度の第1回兵庫地区渋滞対策協議会では、渋滞の改善が見られている4交差点を主要渋滞箇所の指定から解除した。
- 平成24年度の選定時に202箇所あった主要渋滞箇所は、平成31年2月末時点で197箇所となった。



(※1) 最新の交通データで主要渋滞箇所選定時の基準を満たしている
 (※2) 直進車両の旅行速度が20km/h以上もしくは信号待ち回数が複数回(新渋滞交差点解消プログラム参考)など確認
 (※3) 最新の交通データの旅行速度が前年の旅行速度を上回っている。
 (※4) 対策の進捗状況、交通量の変化、周辺状況の変化等から渋滞緩和の要因を特定

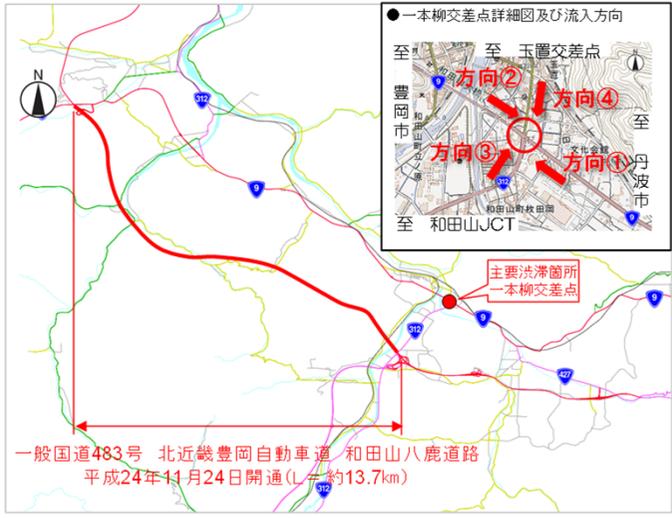
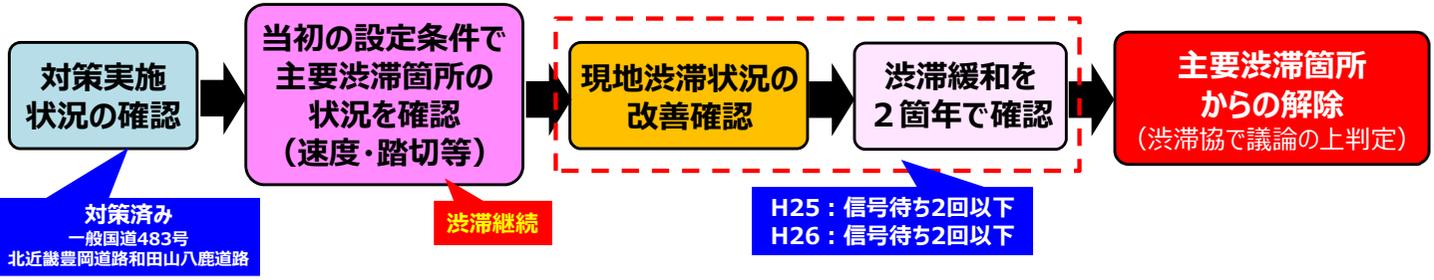
3. 平成30年度第1回兵庫地区渋滞対策協議会の内容

2) 主要渋滞箇所の特定解除箇所の概要

■一本柳交差点(朝来市 国道9号)

- H24.11.24の一般国道483号北近畿豊岡自動車道和田山八鹿道路の開通により、交通量が減少。
- 開通後の渋滞調査において、信号待ち回数は2回以下となり、大きな渋滞が発生していないことから、主要渋滞箇所から解除した。

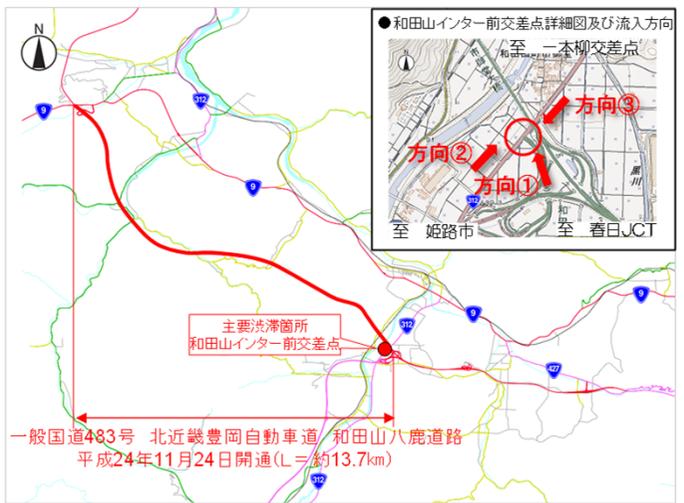
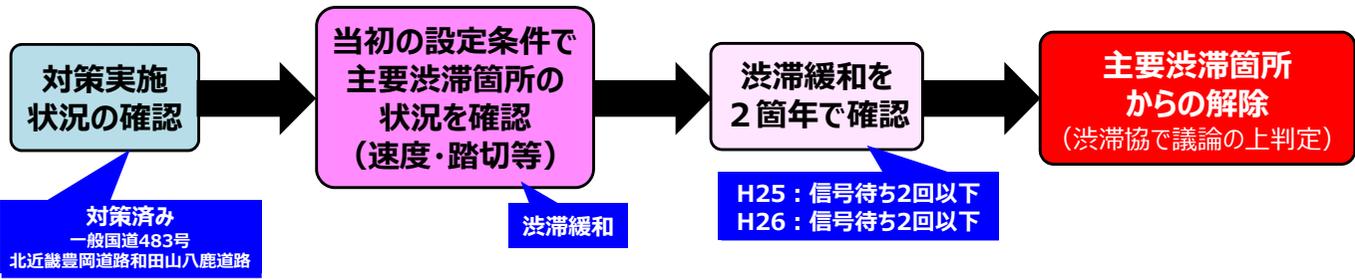
■主要渋滞箇所の解除フロー



■和田山インター前交差点(朝来市 国道312号)

- H24.11.24の一般国道483号北近畿豊岡自動車道和田山八鹿道路の開通し、最新の旅行速度は全方向で20km/h以上となっている。
- 開通後の渋滞調査において、信号待ち回数は2回以下となり、大きな渋滞が発生していないことから、主要渋滞箇所から解除した。

■主要渋滞箇所の解除フロー



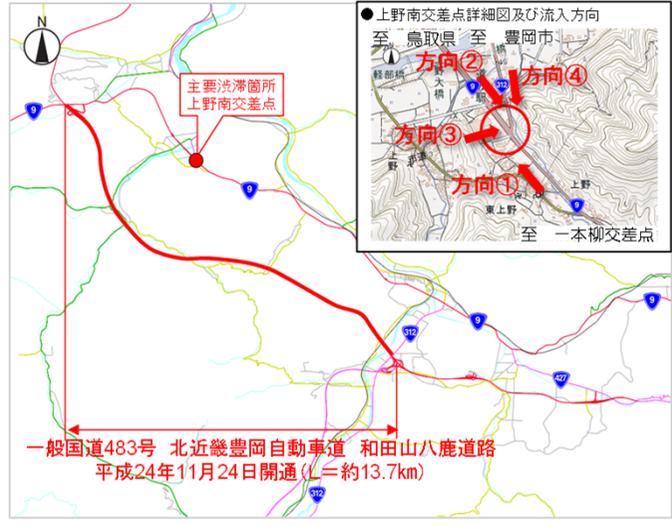
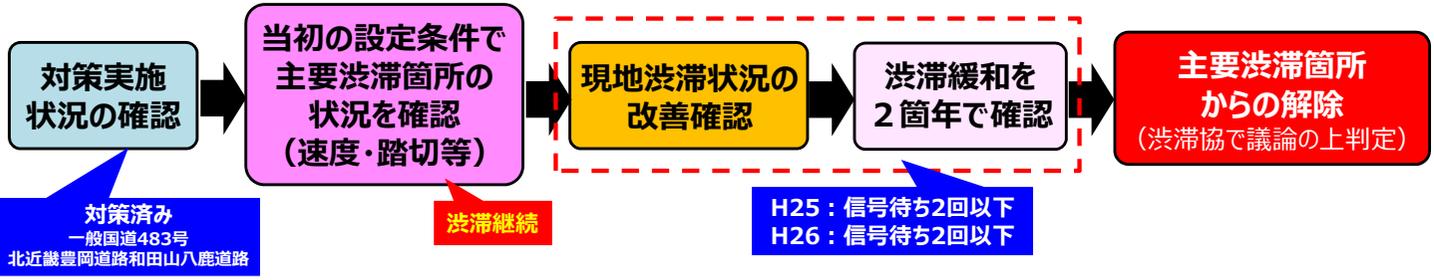
3. 平成30年度第1回兵庫地区渋滞対策協議会の内容

2) 主要渋滞箇所の特定解除箇所の概要

■上野南交差点(養父市 国道9号)

- パブリックコメント(意見収集)により主要渋滞箇所に選定された箇所であり、H24.11.24の一般国道483号北近畿豊岡道路和田山八鹿道路の開通により、国道9号北側(方向②)の交通量が減少。
- 信号待ち回数は全方向2回以下で、大きな渋滞は発生していないことから、主要渋滞箇所から解除した。

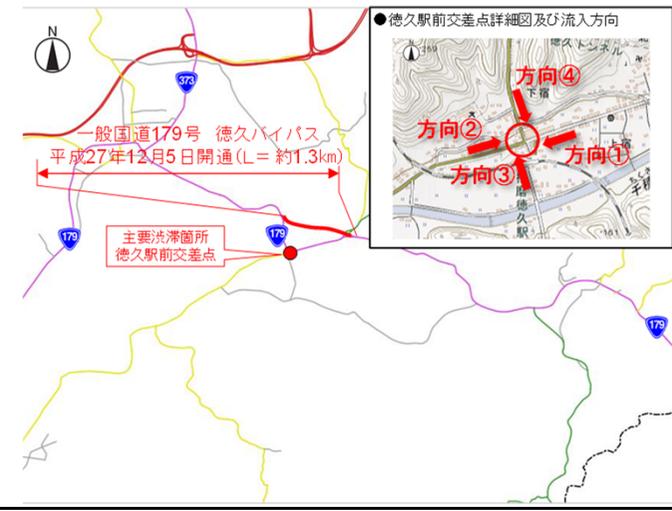
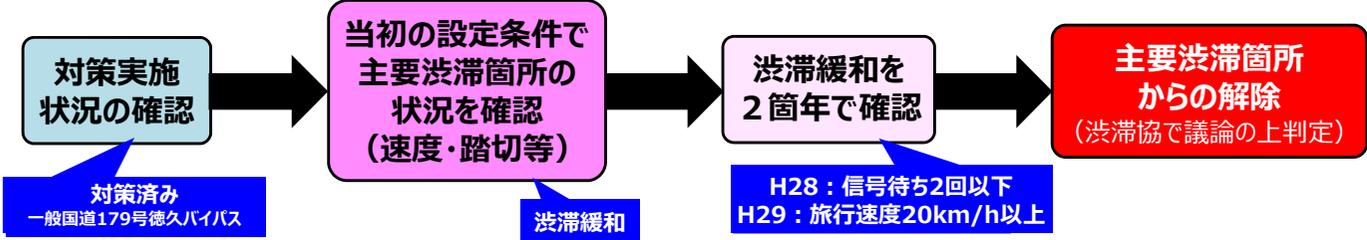
■主要渋滞箇所の解除フロー



■徳久駅前交差点(佐用町 国道179号)

- H27.12.5に一般国道179号徳久バイパスが開通し、開通前に最大350m続いていた渋滞が解消。
- 選定要因であった、信号待ち回数はH28年に全方向で2回以下、さらにH29年の旅行速度は全方向で20km/h以上となっていることから、主要渋滞箇所から解除した。

■主要渋滞箇所の解除フロー



4. 兵庫地区渋滞対策協議会の進め方

■ 検討の進め方

- ▶ “渋滞対策協議会”において、各年度の取り組み方針を決定し、“地域検討ワーキンググループ”へ方向性を指示。
- ▶ “地域検討ワーキンググループ”において、具体的な対策を検討し、結果を“渋滞対策協議会”へ報告。

方向性の指示

“渋滞対策協議会”による議論

- 今年度の主な取り組みの報告
- 交通状況のモニタリング結果の報告
- 実施した渋滞対策及び整備効果の報告 等

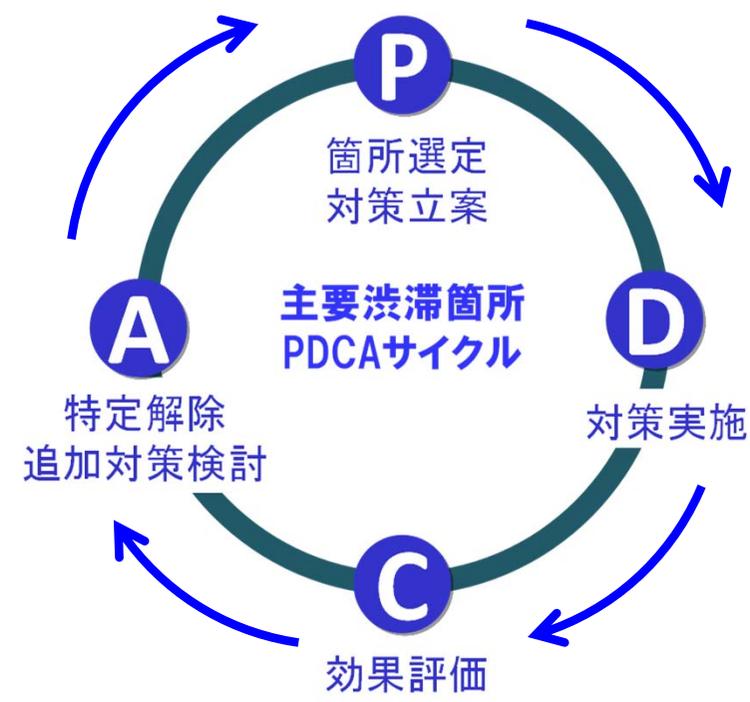
年に1~2回程度

“地域検討ワーキンググループ”による議論

- 渋滞対策の基本方針の検討
- 地域の交通課題の抽出
- ソフト・ハードを含めた具体的な対策の検討・調整 等

年に2~3回程度

検討結果の報告



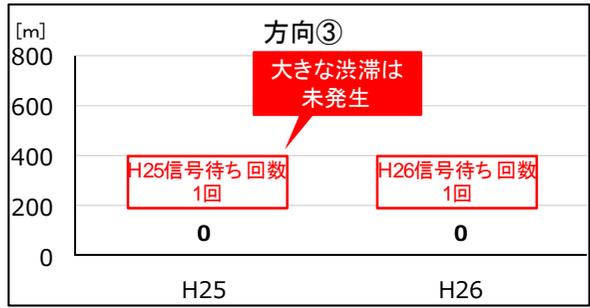
5. 平成30年度第1回協議会における主なご意見

第1回協議会でのご意見

■グラフの見せ方について

- ・ 渋滞長が0mにも関わらず、信号待ち回数が1回となっている点について誤解を招かないか。
- ・ 公表とする際には、図表の見せ方を整理して考える必要がある。

▼協議会時のグラフ

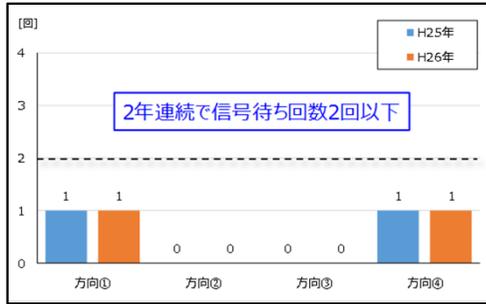


※各方向それぞれでグラフを作成

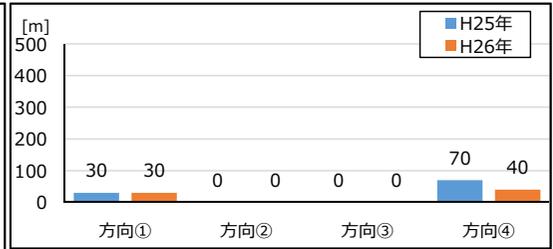
対応

- ・ 通過時間をサイクル長で割って算出したものを信号待ち回数に相当するものとしていたことから、計算方法の見直しを行い、渋滞長との乖離を無くした。
- ・ 信号待ち回数と渋滞長を分けてグラフ化。
- ・ グラフを修正した上で、兵庫国道事務所HPにて資料を公表

▼公表資料の信号待ち回数のグラフ



▼公表資料の渋滞長のグラフ

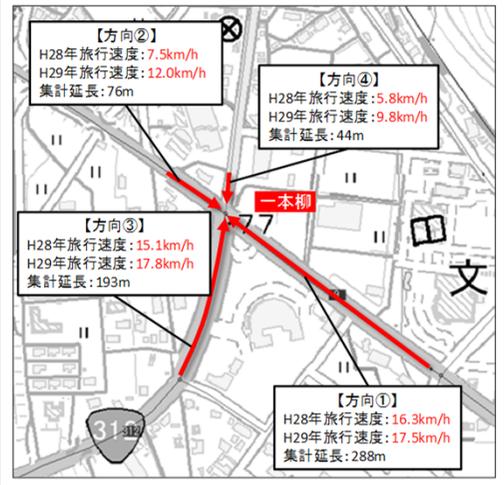


■プローブデータの取扱いについて

- ・ 交差点の流入速度については、交差点直近のリンクのみでの算出ではなく隣接区間まで考慮して算出するべきではないか。

- ・ 平成30年度の解除候補箇所4箇所については、DRMリンク延長が500m以上となるように複数リンクでの旅行速度の集計を実施。
- ・ ただし、主要渋滞箇所への選定時の集計条件との乖離が生じることから、リンク延長の取扱いについては、引き続き調査を行うこととした。

交差点直近リンクのみで集計



複数リンクで集計(交差点から500m以上)

